



新型スペース ギア

広 報 資 料

P R E S S I N F O R M A T I O N



開発者が新型スペーシア ギアに込めた想い



商品企画本部
四輪軽・A商品統括部
第6カーライン
チーフエンジニア
鈴木 猛介
Suzuki Takeyuki

お客様がワクワクする新型スペーシア ギアをお届けするために考えてきたことは、スペーシアシリーズとしての縛りがあるからこそ、スペーシアでも、スペーシアカスタムでも満たせない価値をお届けすることです。そして、今までとは違う日常を広げてくれるスペーシアギアを、しっかりと進化させる。その為にチーフエンジニアとして、開発メンバーにもワクワクしながら開発してもらうことにこだわってきました。新型スペーシアギアは随所にそのワクワクがちりばめられています。ぜひ、この『ワクワク』をお客様に共感してもらえたら、という思いでいっぱいです！



商品企画本部
四輪軽・A商品統括部
第6カーライン
アシスタントチーフエンジニア
東山 友幸
Higashiyama Tomoyuki

新型スペーシア ギアは日常のあらゆるシーンで頼りになり、より一層愛着のわく存在になれるように開発を進めてきました。広々とした室内空間と多彩なシートアレンジは、家族や友人とのドライブが快適で楽しいものになるように考えました。また、安全性能にも妥協せず、最新の安全技術を搭載。マイルドハイブリッドにより、高い燃費性能を実現しています。さらに、何気ない日常でもアウトドア気分を楽しめるデザインを追求しました。お客様に安心して存分に楽しんでいただきたいという想いを込め、スズキの技術とデザインを詰め込んだ1台に仕上げることができました。



商品企画本部
商品企画部商品企画課
小杉 好香
Kosugi Yoshika

アウトドアがライフスタイルとして定着し、誰もが気軽に楽しめるものへと変化していることを背景に、お客様のさまざまなアウトドアライフに寄り添えるクルマとして企画を行いました。大事にしたのは、日常使いに万能で快適に、便利に使えること、そして初代で作上げた「無骨かわいい」親しみやすさを継承しながら、スペーシア ギアらしい遊びゴコロを進化させ、形にすることでした。日常生活の相棒として、アウトドアやキャンプの相棒として、新型スペーシア ギアと一緒にアウトドアライフを楽しんでいただけたら嬉しいです。



はじめに	1
スペーシアシリーズ振り返り	3
企画背景	4
商品コンセプト	5
デザインコンセプト	6
エクステリアデザイン	7
カラーラインアップ	8
インテリアデザイン	9
デザインに込めた思い	10
快適装備・安全技術	11
アクセサリ紹介	12

■ 二代目スペーシアシリーズ発売から新型スペーシア ギア発売まで

2017年12月

二代目スペーシア、
スペーシア カスタム発売



わくわく楽しさのある
カジュアルなデザイン



圧倒的な迫力と
存在感のあるデザイン

2018年12月

初代スペーシア ギア発売



SUVテイストの
タフでアクティブなデザイン

2023年11月

新型スペーシア、
スペーシア カスタム発売



日常をユニークに彩る「心地よさ」と
「ワクワク感」をデザイン



カスタムらしい「上質感」と
「華やかさ」をデザイン

2024年9月

新型スペーシア ギア発売



日常になじむ
無骨かわいいデザイン



初代スペーシア ギアはスペーシアシリーズの拡販と、スペーシアブランドの認知向上のため、広い室内空間とアクティブスタイルを融合した、新しい価値を持った軽ハイトワゴンとして、2018年12月に発売。発売以降、昨年10月まで平均月間販売台数は販売目標台数2,000台を上回り、スペーシアシリーズの販売台数底上げに貢献しました。

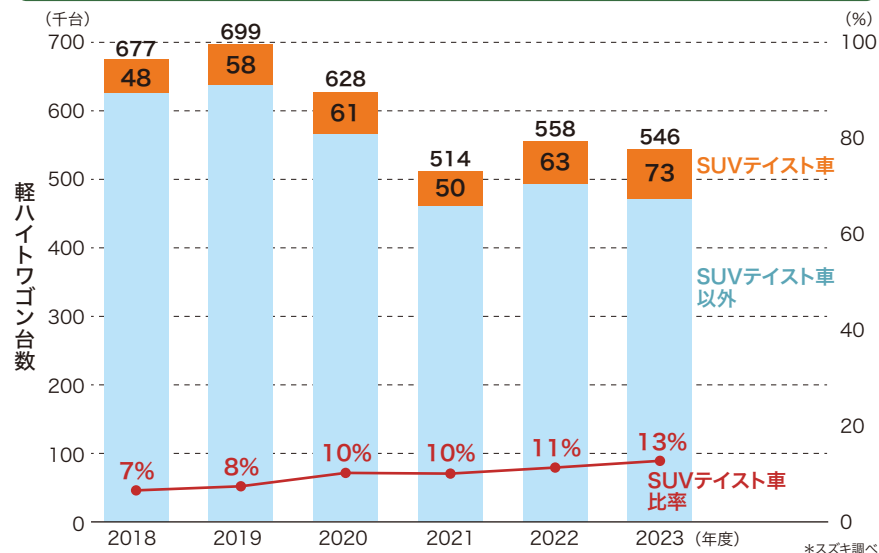
2023年11月にフルモデルチェンジをした新型スペーシア、新型スペーシア カスタムは、「わくわく満載！自由に使える安心・快適スペーシア」をコンセプトに、デザインや快適で居心地のよい室内空間、安全装備など、スペーシア本来の魅力をより進化させました。

新型スペーシア、新型スペーシア カスタムの使い勝手の良い装備に加え、専用デザイン・専用装備を採用し、さらに進化した新型スペーシア ギアを今回投入いたします。

商品企画本部 四輪軽・A商品統括部 第6カーライン アシスタントチーフエンジニア 東山 友幸

市場動向

SUVテイストのデザインを持った軽ハイトワゴンの販売比率



2018年12月に初代スペース ギアを発売して、スズキはSUVテイストのデザインを持った軽ハイトワゴンという新たな市場を開拓しました。スペース ギアはレジャー用途はもちろん、日常生活でもアウトドア気分を味わいたい方、個性的で親しみやすいデザインを楽しみたい方などにお選びいただきました。初代スペース ギアの発売以降、SUVテイストのデザインを持った軽ハイトワゴンの販売比率も拡大しています。



初代スペース ギアの発売から数年が経ち、アウトドアはプロが楽しむものから誰もが楽しめるものに変化しています。自宅でアウトドア気分を楽しむなど、日常と非日常の垣根が低くなり、ライフスタイルの1つとして定着してきているのではないかと考えたのが、新型スペース ギアの企画を考える出発点でした。軽ハイトワゴンにおけるSUV比率は今後も高くなっていくと予測しています。普段使いに便利だけでなく、SUVテイストながら日常になじむデザインでお客様にワクワクを届け、新型スペース ギアでも引き続き独自のポジションを築いていきます。

商品企画本部 商品企画部 商品企画課 小杉 好香

初代スペース ギアのお客様が持つ商品イメージ

カジュアル	70.0%	【参考】SUV車のお客様が持つ商品イメージ	
アウトドア・自然が似合う	57.1%		
親しみやすい	32.8%		
		カジュアル	26.3%
		アウトドア・自然が似合う	28.0%
		親しみやすい	11.0%

2023年(暦年)スズキ調べ ※複数回答

スペース ギアは、SUVテイストのデザインながら、「カジュアル」や「親しみやすい」というイメージも持たれています。これはスペース ギアならではの傾向で、スペース ギアと過ごす時間を楽しみ、愛着を持ってスペース ギアにお乗りいただいていることがわかります。

初代スペース ギア お客様が購入時に想定した用途

買い物やちょっとした外出	77.3%	スペース ギアは、買い物や送迎などの日常用途を目的にご購入されているお客様が多くいらっしゃるのに加え、レジャーやスポーツ全般での使用を用途とするお客様もいらっしゃいます。日常の中でもアウトドアの雰囲気を楽しみたい方からご支持いただいていることがわかります。
家族の送り迎え	57.5%	
通学・通勤	52.4%	
レジャーやスポーツ全般	16.2%	

2023年(暦年)スズキ調べ ※複数回答

アウトドアライフに欠かせない アクティブ軽ハイトワゴン

デザイン

アウトドアギアの道具感がありながら、愛着の持てるスタイル「無骨かわいい」を表現

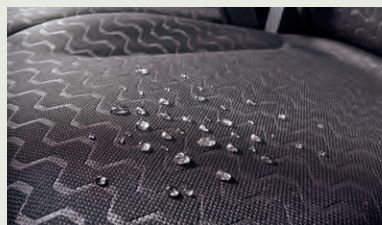
快適装備

アウトドアシーンで活躍する機能アイテム

安全技術

新型スペーシア、新型スペーシア カスタムで新開発した安全技術を標準装備

新型 スペーシア ギア 専用装備



ファブリックシート表皮
[撥水加工、オレンジステッチ]



防汚タイプラゲッジフロア



シートバックアッパーポケット[メッシュタイプ、タグ(運転席側)付][カーキ](運転席、助手席)



ルーフレール



新型スペーシア ギアの開発では、日常生活とアウトドアシーンの境目がなくなっている時代に合うよう、どんなシーンでも相棒として常にそばにいたい存在になることを目指しました。

デザインはスペーシア ギアらしい親しみやすさを継承し、道具感を強めた頼りがいのある印象に進化させました。アウトドア気分を高めてくれる専用デザインや、様々なアウトドアライフで活躍する装備に加えて、ご好評いただいている新型スペーシア、新型スペーシア カスタムで新開発した安全技術や快適装備を標準装備しています。新しいお客様はもちろん、初代スペーシア ギアから代替えするお客様にもご満足いただける商品に仕上がっています。

軽ハイトワゴンのSUV市場を開拓した新型スペーシア ギアの投入により、引き続き幅広い選択肢をご提供いたします。

商品企画本部 四輪軽・A商品統括部 第6カーライン チーフエンジニア 鈴木 猛介

ラインアップ

HYBRID XZ ターボ

■ターボ ■2WD/4WD ■CVT

WLTCモード 燃料消費率 21.9km/L(2WD車)

JC08モード 燃料消費率 26.1km/L(2WD車)

HYBRID XZ

■NA ■2WD/4WD ■CVT

WLTCモード 燃料消費率 23.9km/L(2WD車)

JC08モード 燃料消費率 28.2km/L(2WD車)

ボディカラーは
(左) ミモザイエローパールメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ(FCT)
(右) ボディカラーはオフブルーメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ(DYA)



*燃料消費率は定められた試験条件の下での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。



新型スペーシア ギアのデザインコンセプトは『10マイルアドベンチャー』です。

10マイル(約16km)は、軽自動車の一日の平均走行距離※であり、日常生活における行動範囲の距離感だと考えました。日常の中でも、もっと気軽に、もっと思い切りアウトドア気分を楽しんでほしい。そんな思いをデザインに込めました。新型スペーシア ギアは、さまざまなアウトドースタイルがあふれる中でもキラリと光る、個性的なデザインになりました。エクステリアとインテリアで統一感のあるデザインと、随所に配置したオレンジのアクセントなどの遊びゴコロのあるギミックで、生活をアクティブに彩ります。

※スズキ調べ

(左) 商品企画本部 四輪デザイン部 アイデア開発課(エクステリアスタイリング担当) 中村 賢部
(中) 商品企画本部 四輪デザイン部 エクステリア課(エクステリアカラー担当) 長嶋 みのり
(右) 商品企画本部 四輪デザイン部 インテリア課(インテリアカラー担当) 沖野 有花

スペースア ギアらしい際立つアクティブ感を表現したデザイン

スペースアやスペースア カスタムに対して「アクティブ」な印象を強調し、日常でもアウトドアの雰囲気を感じられるデザインになっています。フロントマスクは丸目のヘッドランプと6つのメッキブロックで、顔全体をプロテクトするタフなイメージを与えました。アウトドアギア感を演出する立体的な造形のルーフレール、SUVらしさを強調する前後のスキッドプレート、多角形ブロックを結合したグラフィックで頑丈さを感じさせるサイドドアガーニッシュとサイドアンダーガーニッシュの採用により、乗る人や見る人の冒険心(10マイルアドベンチャー)をくすぐる要素を随所に散りばめました。

フロントマスク

ひと目見てスペースア ギアだとわかる、丸目のヘッドランプとガンメタリックのガーニッシュを採用。フロントグリルにメッキブロックを採用し、力強い印象としました。

フロントバンパー

ボディーと同色のバンパーで上質感をもたせ、立体的な造形で力強さを強調しました。

スキッドプレート(フロント)

シルバーのスキッドプレートに浮き彫りを施し、SUVらしさを演出しています。

サイドドアガーニッシュ/ サイドアンダーガーニッシュ

複数の多角形ブロックを結合したグラフィックを採用し、頑丈で頼りがいのある印象を付与しています。また、サイドドアガーニッシュにオレンジの「GEAR」ロゴを配することで、気持ちが高まるような遊びゴコロを表現しています。

ルーフレール

ルーフキャリアを載せられるルーフレールは前後にブロックが付いたような立体的な造形にして、アウトドアギア感を高めました。

Photo:HYBRID XZターボ
ボディーカラーはミモザイエローパールメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ(FCT)

14インチアルミホイール

プラスのネジをモチーフにした十字形状とし、機能的な印象を高めています。



スキッドプレート(リヤ)

サイドアンダーガーニッシュ同様、多角形ブロックを用いて頼りがいのある印象を際立たせています。

Photo:HYBRID XZターボ
ボディーカラーはクールカーキパールメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ(D4H)



ミモザイエローパールメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ (FCT)



ソフトベージュメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ (FCS)



オフブルーメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ (DYA)



クールカーキパールメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ (D4H)



デニムブルーメタリック
ガンメタリック2トーンルーフ (D4E)



フェニックスレッドパール
ガンメタリック2トーンルーフ (DW6)



モスグレーメタリック (WBW)



ピュアホワイトパール (ZVR)



ブルーイッシュブラックパール3 (ZJ3)

エンブレム



オレンジのアクセントが効いたガンメタリックの2トーンで、道具感がより引き立つカラーコーディネートとしました。すべての車体色との相性を吟味し、コーディネートしており、ほど良いアクセントとなるよう、「GEAR」の文字の側面にのみオレンジを施したこともこだわりのひとつです。

サイドドアガーニッシュ



オレンジの「GEAR」ロゴを配したことで、乗り込むたびに目に入り、お客様の気分を高めてくれます。スペーシア ギアだからこそ表現できる、遊びゴコロを加速させるこだわりのポイントです。

アウトドアギアのような道具感を演出するカラーリングのインテリア

基本内装色をブラック、加飾に低彩度のカーキグリーン、アクセントにオレンジを組み合わせ、「アウトドアギアのような使い倒せる道具感」を強調した室内としました。

ビッグオープントレー下のガーニッシュやビード形状のインパネボックスにはカーキグリーンを配色し、アウトドアで使うツールボックスのようなガチッとした丈夫な印象を際立たせています。

また、エクステリア同様にインテリアでも随所にオレンジのアクセントカラーを配色したことで、タフな印象と遊びゴコロある室内に仕上げただけでなく、エクステリアとインテリアに統一感を持たせています。



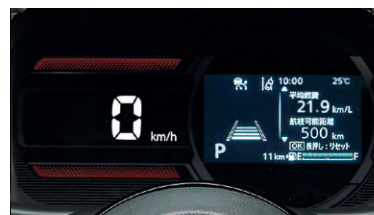
インパネ

インパネボックスやビッグオープントレーガーニッシュにカーキグリーンを採用。ツールボックスのような頑丈な印象を際立たせました。

メーター

丸をモチーフに多角形ディテールを組み合わせたプロテクト感あるデザインを採用。オレンジのアクセントを施すことで個性の強さを演出しています。

*メーターパネル・メモリーナビゲーションは機能説明のため点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。 *画面はハメコミ合成です。



シート表皮

シート表皮はタイヤパターンをイメージしたデザインを採用。エンボスの艶感と凹凸感の絶妙なバランスで、スペースギアらしい遊びゴコロと機能が両立したイメージを織り込みました。



シートバックアッパーポケット[メッシュタイプ、タグ(運転席側)付][カーキ](運転席、助手席)

運転席・助手席シートバックアッパーポケットは、アウトドアを連想させるサコッシュバッグをイメージしたメッシュタイプにしました。運転席側には多角形グラフィックやビード形状など、内外装のデザイン要素を取り入れたイラストタグをつけています。リヤシートに座る人と会話が弾むようなストーリー性のあるタグを目指し、グラフィックデザインは「トレイルランニングしているスペースギア」とし、遊びゴコロを表現しました。

Photo: HYBRID XZ-Two 2WD 全方位モニター付メモリーナビゲーション・スズキコネク対応通信機装着車 ボディーカラーはオフブルーメタリック ガンメタリック2トーンルーフ(DYA)

エクステリア



商品企画本部
四輪デザイン部 アイデア開発課
(エクステリアスタイリング担当)

中村 賢都
Nakamura Kento

新型スペース ギアのエクステリアは、デジタルガジェットを意識してデザインしました。例えば小型アクションカメラやアクティブなスマートウォッチなど、アウトドアギアを日常使用するスタイルが浸透しています。新型スペース ギアも同じ感覚で乗ってほしい、という思いを込めています。特にフォグランプベゼルは機能部品の集まりで、まさにガジェット感を表現。サイドアンダーガーニッシュも量産が難しい形状で、とても苦戦したパーツです。設計担当の方とデザイナーがお互いの仕事を理解し、一体となれたからこそ実現できたのだと思います。フロントナンバー左側のホーン部分はダズル迷彩柄のフィンを採用しており、新型スペース ギアならではの遊び心です。今回の新型スペース ギアにたくさん乗って、汚して…洗車のたびに細かなこだわりにも気づいていただけたら嬉しいです！



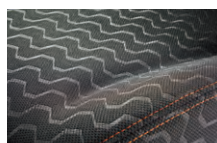
スキッドプレート(フロント)



スキッドプレート(リヤ)



サイドアンダーガーニッシュ



シート表皮



イラストタグ

ボディーカラー



商品企画本部
四輪デザイン部 エクステリア課
(エクステリアカラー担当)

長嶋 みのり
Nagashima Minori

新型スペース ギアでは、親しみやすいスペース、上質さを感じさせるスペース カスタムとは異なり、カラートレンドである低彩度のアースカラーにガンメタリックを配色し、個性あるアウトドアスタイルを表現しています。オレンジのアクセントも、新型スペース ギアならではの遊びゴコロです。冒険心を掻き立て、気持ちを高ぶらせる色としてオレンジをワンポイントカラーに採用しています。世に様々なアウトドアカラーが溢れる中で、使用シーンを自分たちで想像しながら、どういう世界観にしていくな？オレンジという色の中でも、最も元気の出る色はどんな色なのかを悩み抜いている時間がとても楽しかったです。エクステリアはどんな景色にも映えるカラーを設定しているので、いろんな場所を背景にして新型スペース ギアと一緒にたくさん写真を撮って楽しんでほしいです。日常の生活圏内であっても、ちょっとした遠出でも、本格的なアウトドアでも、どんな時でもアクティブに、新型スペース ギアに乗って毎日のテンションのギアを上げてほしいです。



エクステリアスタイリングのデザインスケッチ

インテリア



商品企画本部
四輪デザイン部 インテリア課
(インテリアカラー担当)

沖野 有花
Okino Yuka

カーキグリーンの色表現には苦労しました。カーキは黄味のミリタリー系から青味の上品な色まで、少しの違いで印象が大きく変わる難しい色相です。絵の具で数十種類ものカラーチップを自作し、樹脂の艶感までモデル再現した末に完成したのが、このカーキグリーンです。スペース、スペース カスタムとは配色の仕方もガラリと変えて、新型スペース ギアはインパネボックスとインパネドリンクホルダーまでカーキグリーンとすることでツールボックスのような雰囲気を出しています。厚みや頑丈さ、重量感を表現するにも、このカーキグリーンはぴったりでした。どんなシーンでも乗り込むだけで自然と内からアクティブになれる、乗る人みんなのワクワクを高められるものになったと思います。頼もしいけど、どこか愛らしい相棒として、みなさんのアウトドアライフに迎え入れてもらえると嬉しいです！



新型スペース ギア



スペース カスタム



スペース カスタム



サコッシュをイメージした
シートバックアッパーポケット

スペーシア、スペーシア カスタムと同等の快適装備・安全技術

快適装備

マルチユースフラップ

広い後席空間をより快適に、より便利に活用するために、後席座面の前方に「マルチユースフラップ」を採用しました。フラップの位置や角度を調整するだけで、3つのモードに対応します。



オットマンモード

レッグサポートモード

荷物ストッパーモード

ステアリングヒーター

ドライバーの冷えた手元を素早く温めることで運転し始めの快適性を高めます。



スリムサーキュレーター



電動パーキングブレーキ

スイッチひとつで簡単に操作できる電動パーキングブレーキを搭載。シフト操作やアクセルと連動してパーキングブレーキが作動・解除されるため、スムーズな発進が可能です。



安全技術

スズキ セーフティ サポート 予防安全

SUZUKI Safety Support

スズキの予防安全技術

安心して、楽しくスズキのクルマに乗っていただきたいという想いから生まれた「スズキ セーフティ サポート」。事故を未然に防ぎ、お客様の万一のときの安全を確保するために、運転をサポートする様々な技術で、ヒヤリとする場面も限りなくゼロに近づけていきます。

STREET 街中の運転サポート



デュアルセンサー
ブレーキサポートⅡ



発進お知らせ
機能



標識認識
機能



ヘッドアップ
ディスプレイ

HIGHWAY 高速道路での運転サポート



アダプティブ
クルーズコントロール



車線維持
支援機能



車線逸脱
抑制機能



車線逸脱
警報機能



ふらつき
警報機能

PARKING 駐車時の運転サポート



誤発進
抑制機能



後方誤発進
抑制機能



低速時ブレーキ
サポート(前進・後退)



全方位モニター用
カメラ



ハイビーム
アシスト

NIGHT 夜間時の運転サポート

その他の予防安全機能



エマージェンシーストップシグナル
「急ブレーキを知らせる」をサポート



ヒルホールドコントロール
「坂道発進」をサポート



ロールオーバー保護



ESP® [車両走行安定補助システム]
「安定した走り」をサポート

*ESPはMercedes-Benz Group AGの登録商標です。
*ESP=Electronic Stability Program

■運転支援を目的としています。■検知性能・制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。■状況によっては正常に作動しない場合があります。■対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。■ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行なっているときは、作動しない場合があります。■ご注意ください項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

もっと楽しくワイルドに **OUTDOOR Style**



- ① カーゴラックアタッチメント
- ② ベースキャリア
- ③ ドアミラーガーニッシュ
- NEW ④ サイドデカール
- NEW ⑤ ドアヒンジガーニッシュ
- NEW ⑥ サイドドアガーニッシュ
アクセント
- NEW ⑦ ホイールアクセント
- NEW ⑧ デコステッカー
- NEW ⑨ バックドアデカール
- ⑩ ルーフエンドスポイラー

Photo:HYBRID XZ アクセサリー装着車 ボディーカラーはソフトベージュメタリック ガンメタリック2トーンルーフ(FCS)



- ⑪ カータープ
- ⑫ バックドアネット
- ⑬ スライドドアネット

Photo:HYBRID XZ アクセサリー装着車 ボディーカラーはミモザイエローパールメタリック ガンメタリック2トーンルーフ(FCT)

NEW 新作アイテム



サイドデカール



ホイールアクセント



デコステッカー



ドアヒンジ
ガーニッシュ



サイドドアガーニッシュアクセント



バックドアデカール